



給食だより 1 月

新年あけましておめでとうございます。冬休みは自分の思うように過ごせたでしょうか。3学期は次の学年への準備期間でもありません。気持ちを新たに頑張っていきましょう。

〇1月24日から1月30日は学校給食週間です！

給食は 130 年以上の歴史があります。

日本の学校給食は、明治22年に山形県で始まり全国各地に広がっていきましたが、戦争の影響などによって一時期中断されてしまいました。戦後の食糧難や、子供の栄養状態の悪化から「学校で給食を」の声が集まり、昭和21年6月にアメリカのララ（アジア救済公認団体）より給食用の物資の寄贈によって昭和22年1月から学校給食が再開することができました。



明治22年頃に出されていた給食です。
熊本県の私立小学校で貧困児童を対象に無料で学校給食が実施されました。献立は、「おにぎり・塩鮭・お漬物」です。



昭和25年頃に出されていた給食です。
昭和24年にはユニセフ（国際児童基金）より脱脂粉乳の寄贈があり、ミルクが登場します。昭和25年からアメリカから小麦粉が寄贈され小麦粉を使った献立が多いです。画像の献立は、「コッペパン・マーガリン・ミルク(脱脂粉乳)・ポタージュ・コロッケ・千切りキャベツ」です。



昭和50年頃に出されていた給食です。
昭和51年4月に、学校給食の制度上に米飯が正式に導入され、パン給食からご飯給食へと変化していきます。日本伝統の和食なども取り入れた給食も増えていきます。画像の献立は、「カレーライス・牛乳・野菜の塩もみ・果物(バナナ)・スープ」です。

画像提供：独立行政法人日本スポーツ振興センター

学校に来ると自然とお昼に給食が出てきていますが、最初から当たり前なことではなく、たくさんの方が色々な時代背景と戦ってきたおかげで得られた給食です。そのことを改めて感じて、忘れないように感謝の心を持つ良い機会にして欲しいです。

また、この期間の富岡東の給食には地場産物を使った献立も多く登場しているので楽しみにして下さい。